

スマホを操作できたのは？

日長 「よし——念のために、もう一度説明するぜ。シャンデリアがいつ落下するかは、犯人にもわからなかった。落下の原因は事故。過去の事故でも、落下時期は設置から一カ月前後ってぐらいでバラバラだ。どの日に落ちるかもわからない」

月長 「時間帯は日没後に集中しているけど、これはたぶん漏電^{ろうでん}の影響なんだろうね。僕も詳しくはないけど、数時間続けて通電^{つうでん}しているとチェーンが高温になる……みたいなことがあって、壊れやすくなるのかな」

日長 「かもな。その意味じゃ、停電でホールを真っ暗にしたかった犯人には好都合だったわけだ。だがそれだって、落下の時間帯には2時間くらいの幅がある。秒単位で落下タイミングを予測するなんて不可能だ」

日長 「スマートデバイスの操作アプリには予約機能なんかもあったみたいだが、これは使えなかった。予測できなきゃ予約はできない。じゃあ犯人はどうやったか」

日長 「音だ。落下時に共通してるのは、直前に異音がすること。これを聞いてから、犯人はスマホを操作して停電を起こしたんだ」

確かに停電の直前、異音を聞いたと他の3人も頷く。

日長は結論を口にする。

日長 「つまり、犯人は停電のときにスマホを操作していた奴だ。でも、俺にはそれはできなかった。そうだな、堇青」

堇青 「ええ、間違いないわ。停電が起きたとき、あなたの両手は塞^{ふさ}がっていた。監視カメラの映像にも映ってるはずよ」

日長 「よし。つまり、停電が起きたとき俺はスマホを操作することができなかった。だから俺は犯人じゃない。証明完了だ」

▽推理カード「日長の推理」公開

えらくご機嫌だな——と声が聞こえたのは、日長のスマホからだった。

その直後、堇青のスマホにも着信が入る。

二人はしばし通話した後、スマホから顔を離して状況を説明した。

日長 「現場に張り込ませていた奴だが、やっぱり本館には刑事がいて中には入れなかった。だが、別館の方で情報を掴^{つか}んできたぜ。事件当時のスタッフから話を聞けたらしい」

日長 「それから、これはよくわからねえんだが、刑事の会話も少しだけ聞こえたらしい。なんでも『やっぱり阿望翡翠の性格を考えると、犯行は不可能だ。なのにどうして黒岩さんは……』とかなんとか言っていたらしい」

堇青 「こっちは捜査本部のPCで、証拠品の内部データを見つけたみたい。スマートデバイスの内部データとか、これは……どうも黒岩の奴、私達に秘密で本館の外にも監視カメラを設置してたみたいね。その監視カメラの映像データから、私達が映っているものを抜粋^{ばっすい}してもらった」

堇青 「あともう一つ。外に仕掛けられたカメラの1つにレーザーポインターが映ってた。事件のとき、起動する瞬間もね。近くに人はいなかったから、あのレーザーポインターが遠隔操作でダイヤを照らしたのは間違いない」

月長 「レーザーポインターを仕掛けたのが誰かは映ってないの？」

堇青 「残念ながらレーザーポインターが設置されたのは、監視カメラが設置された2月5日よりも前だったみたい。それに上手くカモフラージュされていて、事件のときに発光するまで、黒岩も木の枝にそんなものが設置されているとは気付かなかったようね」

堇青 「ともかく、警察到着までに集められそうな証拠はこれで全部揃^{そろ}った。あとは時間との勝負よ。私達全員の潔白を証明しましょう」

▽追加情報カードも調査可能。追加情報は、公開後に同名の証拠カードに重ねる。

▽捜査&議論（フェイズ3）を再開する（フェイズ3後半を開始する）。